

2018年9月6日胆振地方中東部で発生した地震による影響について

2018年9月6日10時15分現在

原子力規制庁広報室

○地震発生時刻

2018年9月6日3時08分 北海道安平町 震度6強

○北海道電力泊発電所

1号機～3号機 停止中（原子炉から全燃料取り出し済み）

3:08 地震発生(泊村 震度2)

最大地震加速度 2号機：7 gal 1, 3号機：6 gal

3:25 外部電源3系統6回線喪失

（275kV 泊幹線、275kV 後志幹線、66kV 泊支線）

非常用ディーゼル発電機6台起動（各号機ごと2台設置）

使用済み燃料プールの冷却は正常に実施

（1号機：436体、2号機499体、3号機592体 計：1527体）

非常用ディーゼル発電機の燃料は7日間確保済み

燃料油タンク周辺の点検で異常は確認されていない

発電所内モニタリングポスト、主排気筒モニタ：変化なし

6:07 275kV 泊幹線1号線復旧

6:21 275kV 泊幹線1号線電源喪失

9:45 現在、外部電源の復旧見通しに関する情報なし。

○東北電力東通原子力発電所

1号機 停止中

東通村 震度4

プラント状態に異常なし。

排気筒モニタ・モニタリングポストに異常なし。

○日本原燃六カ所再処理施設

六カ所村 震度3

プラント状態に異常なし。

排気筒モニタ・モニタリングポストに異常なし。

北海道地震によるモニタリングポスト等の被害状況

平成 30 年 9 月 6 日 10 時時点

UPZ 内

固定局 21 局 12 局が停電のため停止

電子線量計 60 局 電送遅れが発生しているものの全局稼働中

UPZ 外

水準局 10 局 9 局が停止（原因については調査中）